



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年12月14日

上場取引所 東

上場会社名 日鍛バルブ株式会社

コード番号 6493 URL <https://www.niv.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 金原 利道

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 李 太煥

TEL 0463-82-1311

四半期報告書提出予定日 平成28年12月14日

配当支払開始予定日

平成28年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	19,823	△7.8	1,621	8.2	1,592	3.5	696	55.1
28年3月期第2四半期	21,497	9.9	1,498	62.3	1,537	45.7	449	937.6

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △1,485百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 444百万円 (147.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第2四半期	24.11	—
28年3月期第2四半期	15.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
29年3月期第2四半期	50,576		28,746		43.0	
28年3月期	55,404		30,955		41.5	

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 21,763百万円 28年3月期 22,999百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00	
29年3月期	—	6.00	—	—	—	
29年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	42,600	0.3	3,750	20.2	3,800	21.2	1,700	109.7	58.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	28,978,860 株	28年3月期	28,978,860 株
29年3月期2Q	93,083 株	28年3月期	92,902 株
29年3月期2Q	28,885,823 株	28年3月期2Q	28,886,300 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 5
(4) 追加情報	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11
(セグメント情報等)	P. 11
(重要な後発事象)	P. 12
4. 参考情報	P. 13
(1) 所在地別セグメント	P. 13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、輸出や生産は横ばいで推移しているものの、企業収益や雇用情勢の改善など景気は緩やかな回復基調が続きました。先行きについても引き続き回復に向かうことが期待されますが、海外景気の下振れリスクや為替・株価の変動影響に留意する必要があります。一方、世界経済は、中国やその他新興国の経済の先行き、英国のEU離脱問題の影響などに留意する必要があるものの、全体としては緩やかに回復しています。

また、当社グループが関連する自動車業界は、国内市場は依然として低調でありましたが、海外市場は中国の需要拡大や欧州の販売好調などを背景に概ね堅調な推移となりました。

このような状況のもと、当社グループは、「基盤強化」、「永続的発展」、「企業風土改革」を柱とする経営方針を掲げ、国内外で競争力を高める施策を積極的に展開してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、国内事業は、可変動弁の受注減や熊本地震の影響はあったものの、中空エンジンバルブの量産拡大等により四輪車用エンジンバルブが増加し、前年同期に比べ増収となりました。海外事業は、中国・タイにおける生産拡大やインド子会社の量産開始などの増加要因はあったものの、北米における受注減や為替換算の影響等により海外事業全体では前年同期に比べ減収となりました。この結果、売上高は、198億23百万円（前年同期比7.8%減）となりました。

損益面につきましては、一部海外事業の受注減や為替換算の影響、更に当社で判明した不適切な会計処理による影響等による減益要因はあったものの、中国の生産拡大や海外子会社立ち上げコスト減少等により、営業利益は、16億21百万円（前年同期比8.2%増）、経常利益は15億92百万円（前年同期比3.5%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に比べ法人税等の計上額が少額であったことなどから増加し、6億96百万円（前年同期比55.1%増）となりました。

報告セグメントの種類別の業績は次のとおりであります。

## &lt;小型エンジンバルブ&gt;

国内事業は、熊本地震の影響等により二輪車用エンジンバルブが減少しましたが、中空エンジンバルブの量産拡大や新規量産の立ち上がりにより四輪車用エンジンバルブが増加し、前年同期に比べ増収となりました。海外事業は、アジア地域では、中国・タイ・台湾における受注増やインド子会社の量産開始などの増収要因はあったものの、インドネシアにおける受注減や為替換算の影響等によりアジア地域全体としては前年同期に比べ減収となりました。北米地域では、一部製品の生産拠点移管や為替換算の影響により減収となりました。欧州地域では、受注減および為替換算の影響により減収となりました。

汎用エンジンバルブは、海外向け製品の減少により減収となりました。

当セグメントの損益面につきましては、北米・インドネシアの受注減や為替換算の影響、更に当社で判明した不適切な会計処理による影響等の減益要因はあったものの、中国の生産拡大に伴う増益やインド子会社立ち上げ完了に伴うコストの減少等により前年同期に比べ増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、158億83百万円（前年同期比10.1%減）、セグメント利益（営業利益）は、15億円（前年同期比12.9%増）となりました。なお、当セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

#### <船用部品>

船用関連製品につきましては、新規量産の立ち上がり等により船舶用および発電機用の組付部品・補給部品が増加し前年同期に比べ増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、17億12百万円（前年同期比1.8%増）、セグメント利益（営業利益）は、87百万円（前年同期比2.2%減）となりました。

#### <可変動弁・歯車>

可変動弁につきましては、量産終了に向かう過程での受注減少により前年同期に比べ減収となりました。

精密鍛造歯車につきましては、アジア向けの自動車用製品、産業機械用製品が減少し前年同期に比べ減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、14億36百万円（前年同期比4.6%減）、セグメント利益（営業利益）は、10百万円（前年同期比38.4%減）となりました。

#### <その他>

バルブリフターにつきましては、欧州・中国向け製品の受注増加や新規量産の立ち上がりにより前年同期に比べ増収となりました。

工作機械につきましては、グループ内部での取引が減少し減収となりました。

ロイヤルティにつきましては、グループ内部での取引が増加し増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、16億73百万円（前年同期比0.1%増）、セグメント損失（営業損失）は、8百万円（前年同期はセグメント利益（営業利益）73百万円）となりました。なお、当セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、505億76百万円となり、前連結会計年度末と比較して48億28百万円の減少となりました。

資産の部の流動資産は、188億28百万円となり、前連結会計年度末と比較して19億85百万円の減少となりました。この主な要因は現金及び預金が11億27百万円減少したことや、原材料及び貯蔵品が2億91百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、317億47百万円となり、前連結会計年度末と比較して28億42百万円の減少となりました。この主な要因は機械装置及び運搬具（純額）が14億71百万円、投資有価証券が6億2百万円、建物及び構築物（純額）が4億28百万円減少したことなどによるものであります。

負債の部の流動負債は、110億87百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億14百万円の減少となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金が2億12百万円減少したことや、その他が2億13百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、107億42百万円となり、前連結会計年度末と比較して20億4百万円の減少となりました。この主な要因は長期借入金が15億78百万円減少したことや、繰延税金負債が2億16百万円減少したことなどによるものであります。

純資産の部では、287億46百万円となり、前連結会計年度末と比較して22億9百万円の減少となりました。この主な要因は為替換算調整勘定が14億59百万円減少したことや、非支配株主持分が9億73百万円減少したことなどによるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、47億23百万円となり、前連結会計年度末と比較して10億5百万円の減少となりました。

営業活動により得られた資金は、前年同四半期に比べ10億8百万円増加し32億25百万円となりました。この主な要因は税金等調整前四半期純利益が55百万円増加したことや、たな卸資産の増減額の減少により資金が4億28百万円増加したことや、仕入債務の増減額の増加により資金が4億97百万円増加したことなどによるものであります。

投資活動に使用した資金は、前年同四半期に比べ支出が1億15百万円増加し19億65百万円となりました。この主な要因は定期預金の払戻による収入が1億5百万円あったものの、有形及び無形固定資産の取得による支出が2億32百万円増加したことなどによるものであります。

財務活動に使用した資金は、前年同四半期と比較して16億47百万円増加し、16億90百万円となりました。この主な要因は、前年同四半期に比べ長期借入金の返済による支出が8億53百万円増加したことや、短期借入金の増減額が3億63百万円減少したことによる収入の減少、長期借入れによる収入が2億73百万円減少したことなどによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想は、平成28年5月13日公表の「平成28年3月期決算短信」より変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間より、KN-Tech Co., Ltd. を持分法適用の範囲に含めております。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(法人税等の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## (4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,850,907	4,723,682
受取手形及び売掛金	7,455,957	7,323,163
商品及び製品	2,329,067	2,156,002
仕掛品	1,445,206	1,322,460
原材料及び貯蔵品	2,781,110	2,489,263
繰延税金資産	368,952	376,571
その他	585,185	437,375
貸倒引当金	△2,465	-
流動資産合計	20,813,923	18,828,518
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,419,530	5,991,198
機械装置及び運搬具(純額)	14,792,006	13,320,120
土地	1,245,027	1,220,012
建設仮勘定	1,873,556	1,771,837
その他(純額)	680,408	627,622
有形固定資産合計	25,010,530	22,930,790
無形固定資産	571,900	481,240
投資その他の資産		
投資有価証券	8,170,857	7,568,532
出資金	940	940
長期貸付金	55,972	54,719
繰延税金資産	404,908	364,976
その他	389,610	361,247
貸倒引当金	△14,120	△14,500
投資その他の資産合計	9,008,167	8,335,915
固定資産合計	34,590,599	31,747,945
資産合計	55,404,522	50,576,464



(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,366,028	3,153,867
短期借入金	3,876,533	3,847,332
1年内償還予定の社債	140,000	140,000
未払法人税等	279,417	227,660
繰延税金負債	888,650	842,900
賞与引当金	375,070	370,765
役員賞与引当金	58,150	-
その他	2,717,648	2,504,566
流動負債合計	11,701,498	11,087,092
固定負債		
社債	580,000	510,000
長期未払金	11,100	11,100
長期借入金	6,072,616	4,494,198
繰延税金負債	2,008,011	1,791,868
退職給付に係る負債	3,695,989	3,629,244
その他	379,420	306,225
固定負債合計	12,747,137	10,742,636
負債合計	24,448,636	21,829,728
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,530,543	4,530,543
資本剰余金	4,506,942	4,500,424
利益剰余金	11,813,655	12,336,943
自己株式	△46,032	△46,087
株主資本合計	20,805,108	21,321,824
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,484,503	3,146,340
繰延ヘッジ損益	-	△16,917
為替換算調整勘定	△512,876	△1,972,260
退職給付に係る調整累計額	△777,508	△715,688
その他の包括利益累計額合計	2,194,118	441,473
非支配株主持分	7,956,659	6,983,436
純資産合計	30,955,886	28,746,735
負債純資産合計	55,404,522	50,576,464

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	21,497,247	19,823,523
売上原価	18,251,002	16,529,561
売上総利益	3,246,245	3,293,961
販売費及び一般管理費	1,747,425	1,672,413
営業利益	1,498,820	1,621,548
営業外収益		
受取利息	15,026	15,032
受取配当金	101,913	101,396
持分法による投資利益	149,462	120,836
雑収入	40,092	28,685
営業外収益合計	306,494	265,950
営業外費用		
支払利息	121,467	98,264
為替差損	131,338	183,746
雑損失	14,744	13,474
営業外費用合計	267,549	295,485
経常利益	1,537,765	1,592,013
特別利益		
固定資産売却益	13,905	13,333
特別利益合計	13,905	13,333
特別損失		
固定資産売却損	34,141	481
固定資産除却損	2,587	33,961
減損損失	-	137
特別損失合計	36,728	34,580
税金等調整前四半期純利益	1,514,941	1,570,767
法人税等	419,944	239,705
四半期純利益	1,094,997	1,331,061
非支配株主に帰属する四半期純利益	645,985	634,729
親会社株主に帰属する四半期純利益	449,011	696,332

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	1,094,997	1,331,061
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△541,480	△338,098
繰延ヘッジ損益	-	△16,917
為替換算調整勘定	△94,881	△2,301,996
退職給付に係る調整額	△6,744	66,247
持分法適用会社に対する持分相当額	△7,285	△225,922
その他の包括利益合計	△650,392	△2,816,687
四半期包括利益	444,605	△1,485,625
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△205,541	△1,056,311
非支配株主に係る四半期包括利益	650,146	△429,313

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,514,941	1,570,767
減価償却費	1,906,594	1,767,442
減損損失	-	137
のれん償却額	7,316	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7,342	53,680
受取利息及び受取配当金	△116,940	△116,428
支払利息	121,467	98,264
持分法による投資損益(△は益)	△149,462	△120,836
有形及び無形固定資産除売却損益(△は益)	22,823	21,109
売上債権の増減額(△は増加)	△239,360	△295,517
たな卸資産の増減額(△は増加)	△267,606	160,688
仕入債務の増減額(△は減少)	△423,966	73,119
未払消費税等の増減額(△は減少)	9,208	34,268
その他	298,810	311,778
小計	2,691,169	3,558,472
利息及び配当金の受取額	117,701	116,527
利息の支払額	△121,478	△98,561
法人税等の支払額	△368,121	△351,290
損失補償金の支払額	△102,217	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,217,052	3,225,147
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	-	105,051
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,837,938	△2,070,790
有形及び無形固定資産の売却による収入	19,667	12,798
投資有価証券の取得による支出	△4,443	△6,559
貸付けによる支出	△750	△4,672
貸付金の回収による収入	9,198	4,862
その他	△35,659	△5,953
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,849,925	△1,965,262
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	1,068,260	704,400
長期借入れによる収入	474,465	200,502
長期借入金の返済による支出	△960,425	△1,813,915
社債の償還による支出	△70,000	△70,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△22,601	△33,563
自己株式の売却による収入	22	-
自己株式の取得による支出	△193	△54
配当金の支払額	△144,004	△144,413
非支配株主への配当金の支払額	△388,036	△338,065
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△195,313
財務活動によるキャッシュ・フロー	△42,512	△1,690,422
現金及び現金同等物に係る換算差額	21,351	△574,846
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	345,966	△1,005,382
現金及び現金同等物の期首残高	5,250,449	5,729,065
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△130,958	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,465,457	4,723,682

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書計上額 (注) 3
	小型 エンジン バルブ	舶用部品	可変動弁・ 歯車	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	17,562,393	1,682,818	1,505,300	20,750,513	746,734	21,497,247	—	21,497,247
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	102,274	—	—	102,274	924,350	1,026,625	△1,026,625	—
計	17,664,668	1,682,818	1,505,300	20,852,787	1,671,085	22,523,873	△1,026,625	21,497,247
セグメント利益	1,329,282	89,100	17,545	1,435,928	73,741	1,509,669	△10,849	1,498,820

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バルブリフター、工作機械製造販売、高圧洗浄、シリンダーヘッド修理、ロイヤルティ、農作物等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△10,849千円は、セグメント間取引消去87,991千円、各報告セグメントに配分されない全社費用△98,841千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	小型 エンジン バルブ	舶用部品	可変動弁・ 歯車	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	15,816,790	1,712,551	1,436,716	18,966,058	857,464	19,823,523	—	19,823,523
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	66,926	—	—	66,926	815,892	882,818	△882,818	—
計	15,883,716	1,712,551	1,436,716	19,032,984	1,673,357	20,706,341	△882,818	19,823,523
セグメント利益 又は損失(△)	1,500,500	87,108	10,804	1,598,413	△8,293	1,590,120	31,427	1,621,548

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バルブリフター、工作機械製造販売、高圧洗浄、シリンダーヘッド修理、ロイヤルティ、農作物等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額31,427千円は、セグメント間取引消去111,188千円、各報告セグメントに配分されない全社費用△79,761千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (重要な後発事象)

平成28年11月に当社が製造、納品した小型エンジンバルブ製品に関して重大な不具合が発見され、現在に至るまでその全容把握及び原因究明等を行っております。この製品不具合に関連して納入先に損失が発生した場合、当社はその損失を補償する可能性があります。この問題が当社グループの財政状態および経営成績に与える影響につきましては、不具合製品の範囲が特定できておらず、納入先との間で費用の算定や補償に関する協議が未実施であることから、現時点において合理的に見積もることはできておりません。

## 4. 参考情報

## (1) 所在地別セグメント

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	合計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	8,085,543	6,659,955	6,305,484	446,263	21,497,247	—	21,497,247
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	990,357	193,511	22,585	590	1,207,044	△1,207,044	—
計	9,075,900	6,853,467	6,328,070	446,854	22,704,292	△1,207,044	21,497,247
営業利益又は 営業損失(△)	△107,459	952,061	641,156	12,814	1,498,573	246	1,498,820

(注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

アジア…台湾、インドネシア、タイ、中国、ベトナム、インド

北米…アメリカ

欧州…ポーランド

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	合計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	8,421,714	6,421,615	4,652,482	327,710	19,823,523	—	19,823,523
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	959,987	230,013	7,245	121	1,197,366	△1,197,366	—
計	9,381,702	6,651,628	4,659,727	327,831	21,020,890	△1,197,366	19,823,523
営業利益又は 営業損失(△)	△77,966	1,119,237	504,453	34,154	1,579,879	41,668	1,621,548

(注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

アジア…台湾、インドネシア、タイ、中国、ベトナム、インド

北米…アメリカ

欧州…ポーランド